

# 各務原市スポーツ推進計画

(平成28年度～平成36年度)

概要版

みんなの  
各務原

はばた

翔け！かかみがはら

～スポーツで<sup>ひろ</sup>広げよう、<sup>えがお</sup>笑顔と<sup>かんだう</sup>感動～

各務原市教育委員会

## 基本理念

スポーツ推進計画に基づいて施策を展開するにあたり、考え方の基礎となる本スポーツ推進計画の基本理念を以下のように掲げその実現を目指します。

はばた

翔け！ かかみがはら

ひろ

えがお かんどう

～スポーツで広げよう、笑顔と感動～

## 施策体系

基本理念に基づいた施策を基本目標として4つに定め、施策を推進します。

### 基本目標 1. スポーツ機会の創出

施策 1 : 誰もが参加できるスポーツ大会の推進

施策 2 : 子どもの成長段階に合わせたスポーツ機会の創出

施策 3 : 高齢者や障がいがある人のスポーツ推進



### 基本目標 2. 地域スポーツ活動への支援

施策 1 : 指導者の育成支援

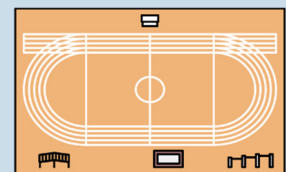
施策 2 : 地域スポーツ活動の支援と連携促進



### 基本目標 3. スポーツ施設の充実

施策 1 : スポーツ施設の整備実施

施策 2 : 適切な施設運営の推進



### 基本目標 4. 競技スポーツの向上（ホッケーの推進）

施策 1 : ホッケー競技の強化

施策 2 : 各種スポーツのレベル向上



## 具体的な施策

### 基本目標 1. スポーツ機会の創出

- 施策1：誰もが参加できるスポーツ大会の推進
- 施策2：子どもの成長段階に合わせたスポーツ機会の創出
- 施策3：高齢者や障がいがある人のスポーツ推進

#### 【数値目標】

	現状値		平成 31 年		平成 36 年
スポーツ実施率の上昇	40.5%	→	45%	→	50%
各種スポーツスクールへ参加する子どもの割合	68%	→	73%	→	78%

#### 【主な事業】

- ・スポーツげんき祭、かかみがはらDEウォーキングなどイベントを開催
- ・スポーツスクールの開催
- ・高齢者体力測定会



### 基本目標 2. 地域スポーツ活動への支援

- 施策1：指導者の育成支援
- 施策2：地域スポーツ活動の支援と連携促進

#### 【数値目標】

	現状値		平成 31 年		平成 36 年
スポーツ指導者育成研修の参加者延べ人数	686 人	→	1,700 人	→	2,900 人
軽スポーツ交流会 定員充足率の増加	92.5%	→	93%	→	95%

#### 【主な事業】

- ・体育協会、スポーツ少年団、体育振興会への活動支援
- ・体育協会指導者派遣事業
- ・スポーツボランティア活動支援



## 基本目標 3. スポーツ施設の充実

- 施策 1 : スポーツ施設の整備実施
- 施策 2 : 適切な施設運営の推進

### 【数値目標】

	現状値		平成 31 年		平成 36 年
公共スポーツ施設の満足度 「とても満足」「概ね満足」と答えた割合	84.5%	→	85%以上	→	85%以上
公共スポーツ施設利用者延べ人数	718,325 人	→	72 万人	→	73 万人

### 【主な事業】

- 各務原市総合運動公園再整備事業
- 地区体育館再整備事業
- 施設の円滑運営（指定管理）



## 基本目標 4. 競技スポーツの向上（ホッケーの推進）

- 施策 1 : ホッケー競技の強化
- 施策 2 : 各種スポーツのレベル向上

### 【数値目標】

	現状値		平成 31 年		平成 36 年
全国大会・国際大会への参加件数	全国大会 136 件 国際大会 13 件	→	全国大会 140 件 国際大会 20 件	→	全国大会 145 件 国際大会 25 件

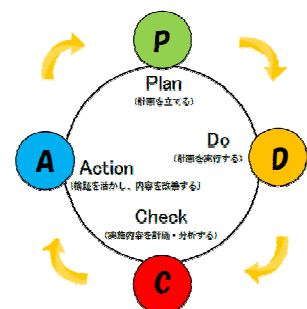
### 【主な事業】

- 全国大会、国際大会の招致
- ホッケー講習会の実施
- スポーツ大会出場者奨励事業



## 計画の推進体制

本計画は、毎年、目標数値に関する進捗管理を行うとともに、各スポーツ関係団体（体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会など）の意見や助言などを参考にしながら、P（計画）－D（実施・実行）－C（検証・評価）－A（改善）のプロセスをふまえた「PDCAサイクル」に基づき、事業の改善を行います。





## スポーツに関する各務原市の課題



### ▼大人のするスポーツについて

- 30歳代から50歳代でのスポーツ機会創出や環境づくりが求められており、ウォーキングなども身近なスポーツとして認識されるよう、運動の大切さについて、広くわかりやすく周知を行うとともに、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境づくりを進める必要があります。

### ▼子どものするスポーツについて

- スポーツテストの結果は、概ね国・県の記録を上回っていますが、今後も体力レベルの向上と、保健体育授業の充実に努める必要があります。
- 本市のトレンドであるホッケー競技において、トップレベルの選手やコーチによる指導機会の充実により、次世代アスリートの育成につながるよう、事業を推進する必要があります。

### ▼高齢者や障がい者のスポーツについて

- 高齢者が気軽に参加できるスポーツイベントの開催や介護予防事業の推進など、高齢者が運動できるきっかけづくりと効果的な周知を行う必要があります。
- 障がい者のスポーツ推進については、パラリンピック出場を見据えたトップアスリートの支援や育成に取り組むとともに、より多くの障がい者がスポーツを楽しむことができる環境づくりが求められています。

### ▼スポーツイベントやスポーツ教室について

- スポーツスクールでは、定員上限に達する教室がある一方、定員割れの教室もみられるため、周知方法や開催、実施種目などの内容を工夫する必要があります。

### ▼「支えるスポーツ」について

- 本市の体育協会は、各種目協会が交流や連携を図り、組織強化に努めることが必要となっています。
- スポーツボランティアの参加者数は増加傾向にあります。今後のスポーツ振興のため、ボランティアとの協力体制を築いていくことが必要となっています。

### ▼スポーツ施設について

- スポーツ施設利用者は概ね増加傾向にあります。更なる利用者の増加につながるよう、利便性の向上を考慮した施設づくりが求められています。

### ▼競技スポーツについて

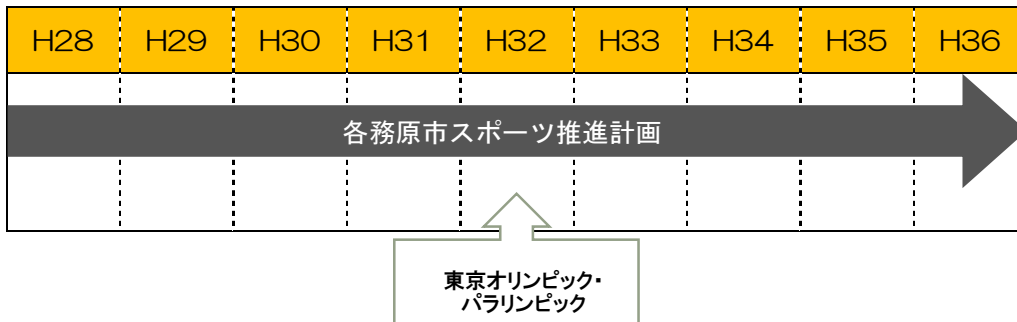
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックなど、国内での国際大会の開催を好機ととらえ、スポーツ気運の醸成やスポーツを始めるきっかけづくりとなる取り組みが必要となっています。

## 計画策定の趣旨

各務原市においては、「各務原市総合計画」を策定し、すべての市民が日常的にスポーツに取り組み、心身ともに健康に暮らせるまちづくりを目指しています。市民の誰もが、生涯にわたってスポーツに親しみ、子どもが心豊かに成長していく環境を構築するため、各種スポーツ団体やボランティア団体などと協力して、気軽に参加できるスポーツイベントを開催するなど、幅広い世代がスポーツを親しむことができる活力ある地域づくりを促進します。また、施設を快適に利用できるよう充実を図るとともに、ホッケーなど競技スポーツ向上のため、世界レベルで活躍できるトップレベルの選手育成を支援していきます。これまで取り組んできた様々な施策を取りまとめ、市民の声を反映しながら、スポーツにおける中長期の目標と、その実現を可能とする施策を掲げ「各務原市スポーツ推進計画」を策定しました。

## 計画の期間

計画期間は、平成 28 年度から平成 36 年度までの9年間とします。ただし、計画期間中であっても、事業内容の変更や新たに取り組むべき事項などは柔軟に対応し、必要な変更などを加えるものとします。



## 計画の位置づけ

本計画は、国の「スポーツ推進計画」、そして「岐阜県スポーツ推進計画」を受け、本市が策定したものです。

本計画の策定にあたり、本市の最上位計画である「各務原市総合計画」や「各務原市教育振興基本計画」などの、関連する諸計画との整合性を図りました。



問い合わせ先

各務原市教育委員会スポーツ課

TEL:058-383-1231

FAX:058-389-0218